

### 加藤議員

#### 勝山市立北保育園の民営化について

問①民営化に関する説明会で理事者は、民営化しないと廃園になる恐れがあると言っているが、これは問題で取り消すべき。

②公立と私立の保育士の賃金格差は勤続年数の違いによるものだとされている。実態を把握しているのか。

③子どもが安定して過ごすには、若くて元気な保育士、経験豊かな保育士など、バランスのとれた年齢構成の保育士の配置が大切。民営化はこの点で保護者は不安を持っている。民営化をやるべき。

答①少子化に伴い保育園の数についても事務的には議論しているが、民営化に合わせて説明すると誤解を受けるので、今後は適切に説明していく。

②民間保育園を経営する社会福祉法人にあっては、労働基準法や就業規則をはじめとする関係法令等を遵守している。

③民営化については計画に基づいて進めており、地元のご理解などを頂きながら今後設置予定の「勝山市立保育園の民営化等に

その他の質問  
・憲法を守り、生かす政治を  
・生存権を保障する生活保護制度を  
・バスの利便性確保について

関する審議会」で、より良い保育園とするための検討を進めていきたい。

#### 不登校対策について

問①勝山市の学校で、不登校の実態はどうなっているのか。

②昨年度まで配置されていた専任職員「登校支援員」が今年に配置されなかった。年度途中からでも復活すべき。

答①平成24年度では小学校5人、中学校12人。平成20年度までの過去4年間と比較すると多少ではあるが減少している。

②本年度からは、従来の特別支援教育支援員を活かし、通級指導教員の増加配置により全校体制で実施しているが、専属的な登校支援員の配置が効果的と認められれば年度途中でも必要な措置をしていく。



保育園の七夕まつり

### 北川議員

#### 地域の新たな女性団体が取り組む事業への助成について

問会員相互の連携を築き、明るく住みよい町づくりに貢献することを目指す。新たな女性団体が結成されている。会員相互の交流や自己の向上・まちづくりに寄与・災害時に女性の視点からの援助等の事業に取り組んでいくという。今後の新たな企画や事業推進には、財源が必要となるため、地域の女性団体の事業への助成の考えはどうか伺う。

答新たな女性団体が、地域の中で生きがいをもって行う活動が、まちづくりや防災活動に繋がることが理想である。

現在、勝山市が実施している工コミュニティ活動の提案型事業に対する助成制度「わがまち助成事業」を見直す中で、男女共同参画の観点から各地区における女性団体の提案型事業に対する助成制度についても、その方向性を関係課で十分協議し検討していく。

その他の質問  
・公衆街路灯のリース方式によるLED化について  
・選挙制度について

#### 風疹予防への取り組みについて

問風疹の流行拡大が続いており、患者数は6月2日現在、全国で9,408人。昨年1年間の4倍に達している。風疹に対する免疫が不十分な妊娠初期の女性が罹ると、お腹の赤ちゃんが風疹ウイルスに感染して、先天性風疹症候群を起こす恐れがある。風疹を確実に防ぐには予防接種しかなく、県内の自治体でも予防接種を促すため、接種費用の助成を始めている。当市の助成への取り組みについて伺う。

答定期予防接種の推進を図ると共に、風疹予防のために、なお一層の周知を図る。また福井県では各事業主に対して職域での風疹対策を推進しており、市だけで風疹予防に取り組んでも全体的な効果が上がらないため、県全体で取り組んでいくことも重要と考えている。

